



この度は
「第3回 関西医科大学連携病院の会」に
ご出席賜りありがとうございます。

滝井病院リニューアル事業も計画通り円滑に進んでおります。

本院は精神科医療が展開するリエゾン精神医療により、患者さんの不安に寄り添い、最先端の高度な医療を提供することを基本姿勢としています。

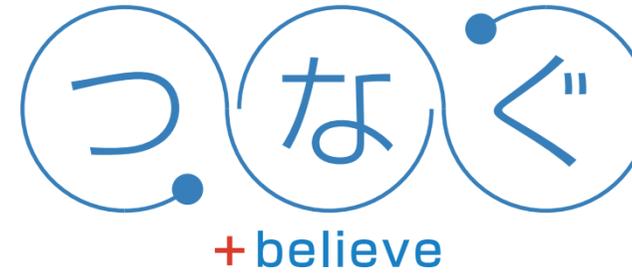
来年新本館のオープン時には呼吸器外科も新設し、さらなる進化を遂げます。これらの願いは地域連携病院の皆様との役割分担、円滑な関係なくしては成り立ちません。本日、開催させていただきます「関西医科大学連携病院の会」も今回で3回目を迎えるにあたり、病院間での情報交換とスムーズな患者さんの紹介関係を構築することにより、信頼関係に基づいた円滑な医療連携を願ってやみません。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

関西医科大学
附属滝井病院
病院長 岩坂 壽二



関西医科大学と地域をつなぐ連携誌



Special issue 特別号 2015

「第3回 関西医科大学連携病院の会」に
ご出席いただいた皆様へ



平成28年5月新本館オープン予定



関西医科大学 附属滝井病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL

TEL.06-6992-1001(代) <http://www.kmu.ac.jp/takii>
〒570-8507 大阪府守口市文圃町10-15
TEL.06-6993-9444 FAX.06-6993-9488



関西医科大学 附属滝井病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY TAKII HOSPITAL

附属滝井病院のご案内



北河内医療圏の基幹病院として地域医療に貢献。

附属滝井病院は、北河内医療圏における基幹病院として患者さん中心の医療を担います。また、大学と連携して高度な先進医療を開発・実践し、日々の診療の中で人間性豊かで確実な技術を有する医療人を育成しております。

附属滝井病院の理念は「慈仁（めぐみ）」を心の鏡とした患者さん本位の病院。大学附属病院では高度の医療を実践し、時代を担う医療人を育成していくことがその役割ですが、その基礎に「慈仁」の心が通ってなければ「医療」とはなりません。時代の先端に行く医療技術を患者さんへ提供するにあたって、患者さん本位の医療を実践しています。

なお附属滝井病院は2016年に新本館がオープンします。これからも地域医療・福祉の向上を目指して貢献し続けたいと考えています。



病院概要

病院長：岩坂 壽二
副病院長：關 壽人
 吉岡 和彦
 室田 卓之
開設：1932年4月9日
病床数：494床（うち一般病棟455床、精神病床39床）
敷地面積：約7000㎡

● 滝井病院リニューアル事業について

2016年5月に新本館オープン、2017年秋にグランドオープン

高度で最先端の医療機器を有する地域に密着した急性期医療センターを目指し、旧専門部学舎を取り壊し、その跡地に地下1階、地上6階、延床面積約2万7千700㎡の新しい病院（仮称：本館）を建設します。

この新本館には、外来部門、手術室（13室）、集中治療室、及び外科系を中心とする約300床の病室を配置し、急性期医療体制を充実させます。

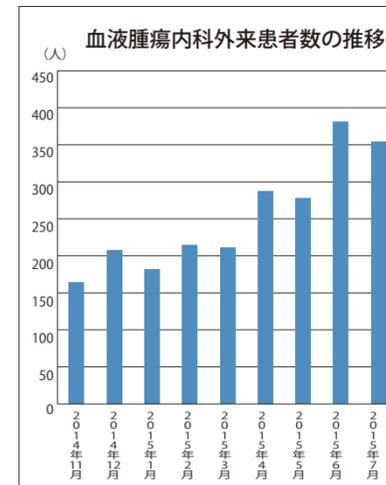
なお、比較的新しい南館、北館は存続させ、大規模改修の後、約200床の病室、及び管理部門を設置し、各棟を外光が入るトップライトが設けられた地下通路で結びます。これにより、本館はもとより、各棟全ての病室を最大4床部屋とし、1床当り約90㎡のゆとりのある病院となります。



さらに、リニューアル計画の最終段階では、新本館完成後、現在の病院正面玄関のある建物を全て取り壊し、その跡地に70m×100m（サッカーの公式グラウンドの広さに相当）の極めて広い緑豊かなホスピタルガーデンを建設します。

このホスピタルガーデンは、患者さんのみならず、災害時の避難場所、また近隣の人々の憩いの場としてご利用いただくことにより、滝井地区の緑化にも貢献できると考えています。

今後の日程として新本館が2016年5月にオープンし、その後、北館、南館の改修工事などを経て、2017年の秋には新附属滝井病院がグランドオープンとなります。なお、現附属滝井病院は、リニューアルを待つことなく、今後も随時、最新医療機器を導入するなどソフト・ハード共に充実を図り、また工事期間中も診療は通常通り継続します。



プロフィール

●略歴
 平成元年 3月 高知医科大学医学部医学科 卒業
 平成5年 10月 世界保健機構（WHO）西太平洋地域事務局 インターン
 平成7年 4月 米国ロックフェラー大学医科ウイルス学講座リサーチフェロー
 平成10年 5月 天理よろづ相談所病院血液内科 医員
 平成13年 3月 関西医科大学附属滝井病院 内科学第一講座 助手
 平成14年 1月 市立岸和田市民病院血液内科 部長
 平成22年 4月 市立岸和田市民病院血液内科 部長
 平成24年 4月 関西医科大学内科学第一講座 講師
 平成25年 8月 関西医科大学内科学第一講座 准教授
 平成26年 10月 関西医科大学附属滝井病院 血液腫瘍内科 診療部長・教授
 平成27年 4月 関西医科大学附属滝井病院 がん治療緩和センター センター長

●資格
 日本内科学会近畿支部評議員・総合内科専門医・認定医、日本血液学会評議員・近畿血液学評議員・指導医・専門医、日本造血細胞移植学会評議員・造血細胞移植認定医、近畿輸血細胞治療学会評議員・日本輸血細胞治療学会認定医、日本サイトメトリー学会評議員、日本臨床腫瘍学会認定指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医、日本感染症学会ICD、日本医師会産業界、日本骨髄移植バンク調整医師、アメリカ血液学会国際会員、アメリカ血液骨髄移植学会会員、ヨーロッパ血液学会会員、ヨーロッパ血液骨髄移植学会会員

NEW Doctor's File

ニュードクターズ・ファイル 2015

頼れる医師をご紹介します。

石井一慶

（平成26年10月1日着任）

附属枚方病院
 血液腫瘍内科部長
 診療教授



手遅れにならないければ、血液のがんは治せる時代です。

白血病、悪性リンパ腫など、かつては不治の病とされてきましたが、もはや血液腫瘍を含めた血液疾患は治せる時代です。ただ進行しすぎると、間に合わないということもあります。患者さんの異変を見つけて、早く治療をスタートすることが救命への第一歩です。これからはもっと開業医の先生方との連携を深めたいと考えています。